

取扱いの趣旨

アポリポ蛋白等は、脂質異常症の診断後、そのタイプ分類や病態把握、動脈硬化性疾患のリスク評価等に行われるものであることから、高脂血症疑い又は脂質異常症疑いに対する算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】 《令和6年4月30日》

140 高脂血症疑い又は脂質異常症疑いに対するアポリポ蛋白等の算定について

○ 取扱い

高脂血症疑い又は脂質異常症疑いに対する次の検査の算定は、原則として認められない。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| (1) D007「10」アポリポ蛋白 | (2) D007「15」リポ蛋白分画 |
| (3) D007「21」リポ蛋白分画（PAGディスク電気泳動法） | (4) D007「34」リポ蛋白分画（HPLC法） |
| (5) D007「26」リポ蛋白（a） | (6) D007「43」レムナント様リポ蛋白コレステロール（RLP-C） |

○ 取扱いを作成した根拠等

高脂血症や脂質異常症の診断は、通常、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール、トリグリセライド、Non-HDL-コレステロール値に基づき行われ、上記検査は、脂質異常症の診断後、そのタイプ分類や病態把握、動脈硬化性疾患のリスク評価等に行われるものである。

以上のことから、高脂血症疑い又は脂質異常症疑いに対する上記検査の算定は、原則として認められないと判断した。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

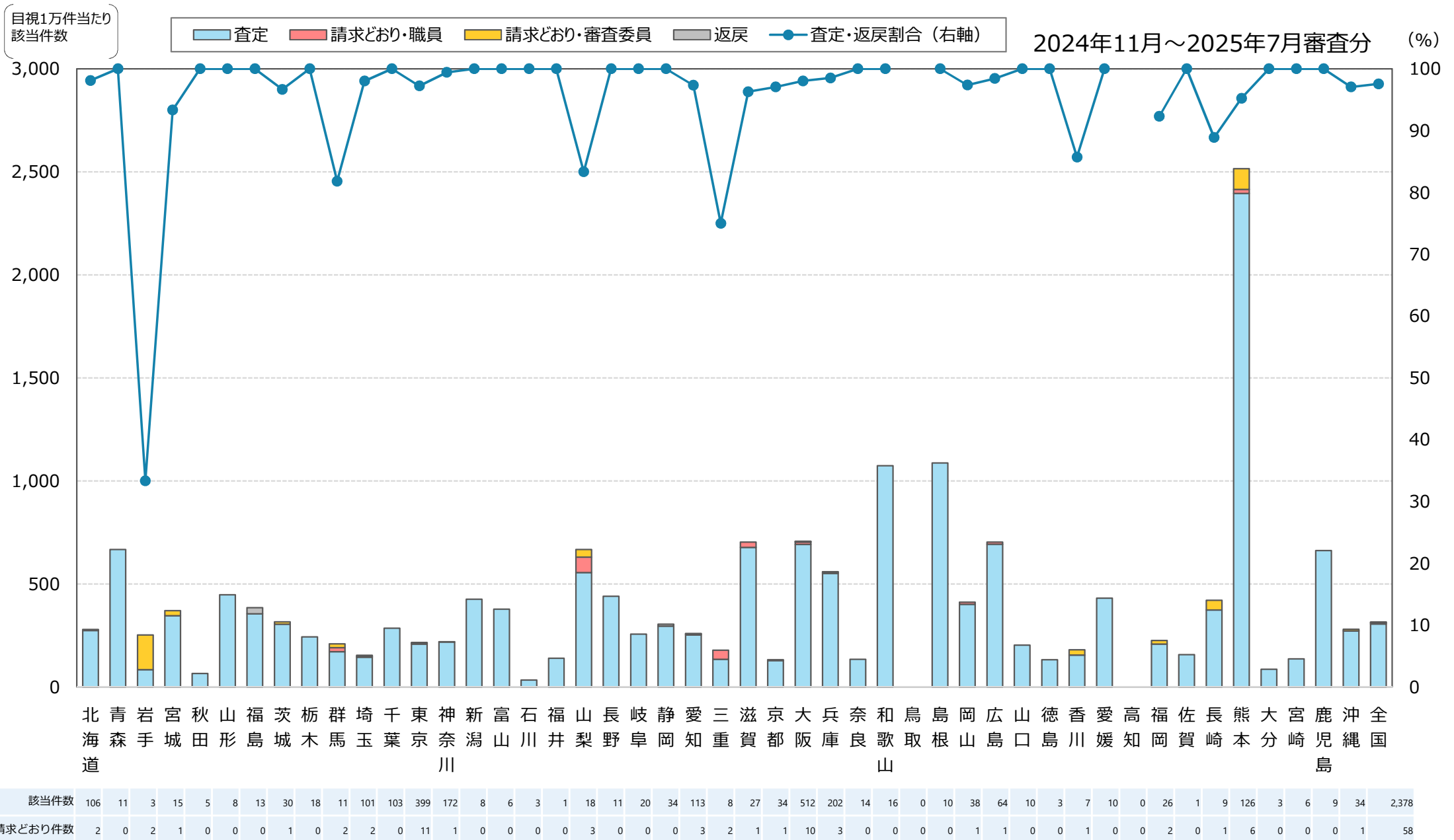
査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 97.56%
- 検証対象都道府県 2

検証観点	都道府県	備考
査定・返戻割合が低い	岩手、山梨	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	山梨	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	岩手、山梨	//

該当件数（全国）	【条件】	2,378件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	2,320件
検証を必要とする審査	請求どおり	58件



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数